

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年5月15日現在

機関番号： 1 2 3 4 5
研究種目： 基盤研究（A）
研究期間： 2007～2011
課題番号： 1 9 0 0 0 0 0 0
研究課題名（和文） ○○○○○○○○○○に関する研究

研究課題名（英文） A A A A A A A A A A A A

研究代表者
学振 太郎 (GAKUSHIN TARO)
〇〇大学・大学院理工学研究科・教授
研究者番号：10234567

[illegible][illegible]

交付決定額

(金額單位：円)

	直接経費	間接経費	合 計
2 0 0 7年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
2 0 0 8年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
2 0 0 9年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
2 0 1 0年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
2 0 1 1年度	5,000,000	1,500,000	6,500,000
総 計	45,000,000	13,500,000	58,500,000

研究分野：人文学
 科研費の分科・細目：哲学、哲学・倫理学
 キーワード：哲学原論・各論

1. 研究開始当初の背景

(1) 

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(2) 

(2) 

3. 研究の方法

2. 研究の目的

(1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(7) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に
は下線)

- 〔雑誌論文〕(計 10 件)
- ① 学振太郎、学振次郎、学振花子、○○と
応用研究、文部科学学会誌、査読有、1
巻、2011、100－125
 - ② 学振太郎、学振次郎、学振花子、○○○
の展開、学振ジャーナル、査読有、Vol.1、
No.2、2011、pp.14－20、

〔学会発表〕(計 5 件)

- ①
- ②
- ③

〔図書〕(計 2 件)

- ①学振太郎, 他、文部出版、○○と応用研究、
2011、150

〔産業財産権〕
○出願状況 (計 1 件)

名称：○○制御機構
発明者：学振太郎
権利者：同上
種類：特許
番号：特許第 37844444 号
出願年月日：23 年 6 月 8 日
国内外の別：国内

○取得状況（計 0 件）

名称：○○制御機構

発明者：学振太郎

権利者：同上

種類：特許

番号：特許第 37833333 号

取得年月日：22 年 6 月 8 日

国内外の別：国内

〔その他〕

ホームページ等

http://○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

6. 研究組織

(1) 研究代表者

学振 太郎 (GAKUSHIN TARO)

○○大学・大学院理工学研究科・教授

研究者番号：

(2) 研究分担者

学振 花子 (GAKUSHIN HANAKO)

○○大学・大学院理工学研究科・教授

研究者番号：

学振 次郎 (GAKUSHIN JIRO)

○○大学・大学院理工学研究科・教授

研究者番号：

学振 三郎 (GAKUSHIN SABURO)

○○大学・大学院理工学研究科・教授

研究者番号：

学振 四郎 (GAKUSHIN SHIRO)

○○大学・大学院理学研究科・助教

研究者番号：

(H20→H21：連携研究者)

(3) 連携研究者

学振 五郎 (GAKUSHIN GORO)

○○大学・大学院理工学研究科・教授

研究者番号：

様式 C-19 「作成上の注意」

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民に説明することが求められています。

研究成果報告書は、当該研究期間内に実施した研究の成果等を記載するもので、その内容は国立情報学研究所の科研費データベース（<http://kaken.nii.ac.jp/>）において広く公開することになります。

研究成果報告書はこのような趣旨で作成するものですので、公開を念頭に、成果の発信のために適切な範囲・内容の記載をしてください。また、この様式の作成に当たっては、次の記入要領にしたがって作成してください。

なお、特許の出願中等の理由により、一定期間公表を見合わせる必要がある箇所がある場合であっても、所定の期日までに公表可能な範囲で作成・提出してください。当該箇所については、後日公表可能となった際に追記して再提出するものとします。

また、この報告書を提出できない場合は、研究経過報告書（様式C-21）を提出してください。

【注意点】

- ①用紙は所定の様式を使用すること（様式の改変は認めません。）。
- ②使用する文字は10ポイントとし、色文字を使用しないこと。
- ③下記「1. 機関番号」～「6. 研究代表者」の各欄はゴシック体、「7. 研究成果の概要」～「15. 研究組織」の各欄は明朝体で記入すること。
- ④下記「12. 研究の方法」及び「13. 研究の成果」の各欄においては、適宜図表等（カラー可）を用いても構わない。
- ⑤様式に既に記載している項目名等を修正しないこと。ただし、下記「14. 主な発表論文等」の欄において、記載する事柄がない場合（〔図書〕や〔産業財産権〕などで記載するものがない場合）は、適宜その項目を削除すること。
- ⑥全体を4頁～6頁で作成すること。
- ⑦提出の際は PDF形式に変換し、ファイル名を半角で「課題番号（8桁）+seika.pdf」（例：2288888seika.pdf）にした上で、研究機関で取りまとめて電子媒体（CD-R など）で提出すること。なお、文書のセキュリティは設定しないこと。
- ⑧「研究成果の概要」など英語で記入することとなっている事項以外は、英語での記入は避けること。

【各項目の記入要領】

1. 機関番号

研究代表者の所属する研究機関の番号（5桁）を記入すること。

2. 研究種目

「基盤研究（A）」、「若手研究（B）」等の研究種目名を記入すること。

3. 研究期間

補助金が交付された期間（年度）を西暦で記入すること。

4. 課題番号

交付決定通知書に記載された課題番号（8桁）を記入すること。

5. 研究課題名

交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。併せて英訳した研究課題名も記入すること。

6. 研究代表者

(1) 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者を記入すること。

(2) 氏名及び所属研究機関名・部局名・職名

研究代表者名は、姓と名の間に空白を入れること。

所属研究機関名・部局名（略称可）及び職名は、研究期間終了時点で提出した実績報告書と同一の所

属研究機関名・部局名・職名を記入すること。

(3) 研究者番号

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている8桁の番号を記入すること。

7. 研究成果の概要

研究成果を社会・国民にわかりやすく説明することに主眼を置き、研究期間内に実施した研究及びその成果の概要について、200字程度で簡潔に記述すること。したがって、難解な専門用語の使用はできるだけ避けること。もしくは適宜説明を加えること。また、併せて英訳も記入すること。

なお、本欄には、図表等は用いないこと。

8. 交付決定額

交付決定額をそれぞれ記入すること。間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。

9. 研究分野、科研費の分科・細目、キーワード

研究代表者の専門分野、当該研究課題応募時の研究計画調書に記入した科研費の分科・細目について記入すること。

また、当該研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワードを1項目以上8項目以内で記入すること。なお、化学式等の使用は極力避けること。

10. 研究開始当初の背景

本研究課題の申請時における背景・動機について、簡潔に記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

11. 研究の目的

本研究課題の申請時における当初の研究目的について、簡潔に記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

12. 研究の方法

本研究課題の研究方法について、その具体的内容を簡潔に記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

13. 研究成果

本研究課題の成果について、研究の主な成果、得られた成果の国内外における位置づけとインパクト、今後の展望などの点から記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

14. 主な発表論文等

本研究課題により得られた研究成果（①雑誌論文、②学会発表、③図書、④産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権）など）のうち主要なものについて記入すること。

記入に際しては、現在から順に発表年次をさかのぼり、項目ごとに通し番号を付して記入し、研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線を引くこと。また、項目ごとに主要なもの以外の件数を含めた総件数を記入すること。

なお、投稿中の論文等の記入をする場合は、掲載が決定しているものに限る。

論文等の研究成果を機関リポジトリで公開している場合は、論文等にアクセスするためのアドレスを記入すること。

(1) 雑誌論文

著者名、論文標題、雑誌名（大学の研究紀要等を含む）、査読の有無、巻、発行年（西暦）及びページを記入すること。（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。）

(2) 学会発表

発表者（代表）名、発表標題、学会等名、発表年月日、発表場所を記入すること。

(3) 図書

著者名、出版社名、書名、発行年（西暦）及び総ページ数（共著の場合は最初と最後の頁）を記入すること。

(4) 産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権）

産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、出願（取得）年月日、国内・国外の別を記入すること。また、発明者と権利者名が同一である場合には、権利者名の欄には、「同上」と記入すること。

(5) その他

その他、報道関連情報、アウトリーチ活動情報、ホームページ情報（研究成果データベース、ソフトウェア、試作システム等の URL）などを適宜記入すること。

15. 研究組織

(1) 研究期間全体を通じて参画した全ての研究代表者、研究分担者及び連携研究者を記入すること。必要に応じて研究協力者を記入しても差し支えない。

(2) 氏名及び所属研究機関名・部局・職名

氏名は、姓と名の間に空白を入れること。（括弧書きでローマ字表記をすること。）

所属研究機関名・部局名（略称可）及び職名は、研究期間終了時点で提出した実績報告書と同一の所属研究機関・部局名・職名を記入すること。

(3) 研究者番号

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている 8 桁の番号を記入すること。